

速報!

市長提出議案13件、陳情4件、 意見書2件に結論を出して 12月議会閉会

2022年最後の定例議会が12月22日(木)に閉会しました。指定管理者の指定、一般会計補正予算、個人情報保護に関する新たな条例、職員の定年を65歳に段階的に引き上げるための条例改正等を審議、結論を出しました。

●渡部市長 次期出馬は「熟慮を重ねて判断したい」

来春に選挙を控えたこの時期は、市長の出身会派である自民党の議員が次期選挙へ向けた意向を問うことが通例でしたので、今回もそれを想定しつつ、「渡部市政4期16年で東村山市はどんなまちになったのか?」というテーマで一般質問を行いました。結果的には自民党が誰も訊かないことに驚きながらも、私は私なりの考えに基づいて問いたいことがありましたので、じっくりやり取りさせてもらいました。

後半の再質問で次期への意向を問うたところ、市長は「様々な声に真摯に耳を傾け、我が身を振り返り、熟慮を重ねたい」と答弁。私は自民党支援者ではありませんが、オープンでフェアな市政を実現しようとしてきた現市長の姿勢と実績には敬意を持っていますし、時計の針を元に戻すような動きが一部にあることに危惧を抱いています。「情報共有」「市民参加」「協働」がさらに進み、開かれた市政が前進するよう注視していきます。

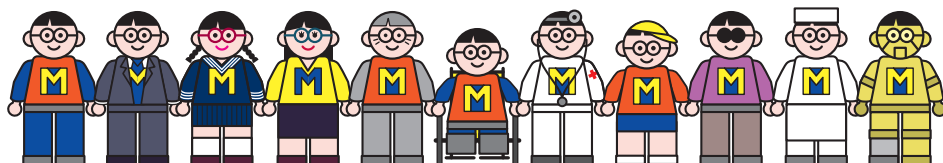


議会の録画配信で私の一般質問が公開されていますので、ぜひご覧ください。

●「ころころの森」「野火止児童クラブ」の管理者決定

子育て総合支援センター「ころころの森」の指定管理者には引き続き現在の事業者「東村山市子どもNPOユニット」が、野火止第1・第2児童クラブの指定管理者には、現在第2を運営している「株式会社明日葉」が選定されました。

5年ごとに事業者が交替する可能性をはらんだ制度ですが、いずれもこれまでの実績が高く評価された形です。特に子どもたちや若い親御さんたちにとって不可欠な施設ですので、継続性は重要な要素です。また市は「市と民間は対等平等な関係」と公民連携を強く打ち出しているため、地域の子育て事情を最も知っているNPOを、単なる下請けとしてでなく、市の政策を充実させるためのパートナーとして良好な関係を築き、「産前産後のヘルパー」等の新たな事業に積極的に取り組むことを求めました。



高架化工事が進む、東村山駅北側踏切



佐藤 まさたか 市政レポート



第96号

2022年12月27日発行

【発行】ちゃんと変えよう! 東村山

佐藤まさたか
活動報告&意見交換会



まさたか
ミーティングに
お出かけください!

誰でも参加いただける
オープンな場です

「市議会議員・佐藤まさたか」として、誰でもご参加いただける活動報告と意見交換の場を20年間続けています。今回は、12月議会の様子をご報告すると共に、市政の課題や、4月23日(日)投開票が予定される市長選と市議選はどうなりそうか? 等々、ご質問をいただいていることを中心に、情報や意見交換をざっくばらんにさせていただければと思っています。どうぞお気軽にお運びください。

※市民センターや公民館へは直接お越しください。オンラインはZoomアドレスをお送りしますのでメールでご連絡ください。

gachapin@sato-masataka.net

2023年1月の まさたかミーティング

- ① 夜まさたか@オンライン
1月21日(土)20時~21時半
ご連絡いただければ、Zoomアドレスをお送りします
- ② 午後まさたか@市民センター
1月22日(日)14時~16時
- ③ 朝まさたか@廻田公民館
1月28日(土)10時~11時半

超党派
無所属

佐藤まさたか

初当選から20年。ただ一人、政党や特定団体の支援を一切受けない完全無所属の市議会議員

佐藤まさたかが勝手に選ぶ2022年市政10大ニュース

2022年も大変お世話になり、ありがとうございました。市政は引き続きコロナ対策に追われた1年でしたが、新しい取り組みや、自分が取り組んできたことで嬉しいこともありました。新たな年の平和を祈りつつ、私が勝手に選ぶ東村山市の市政10大ニュース発表です(^^)／

① 新しい東村山駅にホームドアの設置決定！

2020年6月、視覚障害当事者の方から相談を受け、請願作成のお手伝いをして紹介議員となりました。同年9月議会で全会一致で採択したことを受け、市が西武鉄道と交渉を重ね、今年8月に設置が正式に決まりました。

② 薬師の森(多摩湖町1丁目)公有地化決定！

レポート93号で詳しくお伝えしましたが、地域の皆さんの要望を受けて私も議会で取り上げ来た多摩湖町に残る1haの雑木林を、地権者の方から「トトロのふるさと基金」と市が購入し、公有地化することになりました。

③ 市内ほとんどの公園が指定管理者管理へ

公園管理を専門事業者による共同事業体に任せることで、樹木や遊具等の管理向上と、地域活性化を図る取り組みが7月スタート。私自身、議会で再三取り上げると共に、他市に学びに出向いたり、旧前川緑道や北川の管理活動に携わってきました。



④ 子どもや若者の意見を聴き反映する市政へ

私は社会教育や保育、学童クラブ等、子どもの現場に17年間おり、議員としては20年間で一般質問68回のうち「子ども・若者」を38回取り上げてきました。今年、こども基本法が成立し、市政でも子どもの意見を聴くことが必須になり、子ども・若者を主権者として尊重するよう提起してきた方向へ大きく道が開きました。



⑤ 投票率向上について調査、提言！

所属する政策総務委員会で、伊藤委員長(公明)、下沢副委員長(自民)のもと、調査研究を1年余り重ね、高齢化や情報化に対応した対策をまとめ、12月議会で市長、教育長、選挙管理委



員長に提言しました。チェックや批判だけでなく、市民のための政策を実現する議会を今後も目指します。

⑥ 公務の議会報告会に欠席を続ける議員たち

市議会自ら条例で開催を定めた「議会報告会」を今年も3カ月に一度開催し、大勢の市民にご参加いただきました。議会としての説明責任を果たし、様々な声に不断に耳を傾けるための活動ですが、6人の議員が欠席を続ける条例違反の事態に厳しいご批判をいただいています。

⑦ 全生園の将来をテーマに超党派で勉強中

多磨全生園の将来構想を検討する会議が今年3月に始まっています。議会は公式に関与する立場にありませんが、無関心・無責任であってはいけないと考え、今年6月に公明、共産、無党派5人が自発意思で参加する「政策研究会(伊藤真一座長)」を立ち上げて、関係者からお話を伺い、議会としての関り方を検討しています。

⑧ コロナ禍でも各種イベントが少しずつ復活

7月、8月には感染者が過去最多となり、苦しい思いをされた方も少なくないと思います。私も昨年5月に入院しましたが、罹っても軽く済むことをお祈りするばかりです。一方、市のイベントや地域の行事が、対策を施した上で少しずつ再開された年でもありました。厳しい状況の方々への様々な支援策も講じられてきましたが、ご相談があればいつでもご一報ください。

⑨ 自宅療養者支援がさらに進む

昨年9月議会の一般質問で、多摩26市の状況を調べた上で速やかな実施を求めた市としての自宅療養者支援。その後の流行下で効果を発揮しています。



⑩ 佐藤まさたかの活動報告会を18回開催

20年目を迎えた今年も、私個人として、議会の詳しい報告や、次の議会の議案や陳情や予算案を事前にお見せしたり、市政の課題について意見交換をさせていただく場を、午前、午後、夜に、市民センターや廻田公民館、オンラインも活用して、計18回開催させていただきました。後援会のような集まりではありませんので、情報源の一つとして今後ともご活用いただければ幸いです。



2015・2016・2018
マニフェスト大賞
受賞

佐藤まさたか

1963(昭和38)年 日野市生まれ/慶應義塾大学経済学部卒/社会教育、野外教育、保育、学童クラブ等、子どもの現場を中心に勤務後、政党や団体に属さない完全な無所属として5期目の東村山市議会議員/現・政策総務委員会委員、広報広聴委員会副委員長/全国の優れた政策実践に対して贈られる「マニフェスト大賞」を、4年間で3回受賞

市政や議会へのご意見、ご相談など、
どうぞお気軽に

FacebookやTwitter、ブログから発信中。
「佐藤まさたか」で検索してみてください！
メールアドレス：
gachapin@sato-masataka.net



東村山市廻田町2-21-13 TEL. 042-398-5265

声を聴き、足を運び、市政充実と議会改革に取り組んでいます